



TITLE:

經濟雜話第八

AUTHOR(S):

田島, 錦治

---

CITATION:

田島, 錦治. 經濟雜話第八. 經濟論叢 1917, 4(2): 290-294

ISSUE DATE:

1917-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127157>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第四卷 第二號

大正六年二月一日發行

## 論說

『經濟學者ノ第一思想』ヲ讀ム……………	法學博士 河上 肇
官業問題ニ就キテ(二)……………	法學博士 神戸 正雄
體質廢頽問題(二)……………	法學博士 財部 靜治
經濟心理學ノ組織的研究(二)……………	米田 庄太郎
消費ニ關スル學說ノ發達(二)……………	瀧本 誠一

## 時事問題

減債基金論……………	法學博士 小川 郷太郎
日支經濟關係ノ真相……………	法學博士 戸田 海市
關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況……………	法學博士 神戸 正雄

## 雜錄

經濟雜話(八)……………	法學博士 田島 錦治
中世ニ於ケル賣買ノ擔保……………	文學博士 三浦 周行
不換紙幣ノ價格ニ付テ河上博士ニ答フ……………	法學博士 戸田 海市
米ノ卸賣價格ト小賣價格……………	法學士 河田 桐郎
植民國トシテノ丁抹ノ末路……………	山本 美越乃

雜誌

經濟雜誌第八

田島錦治

(二十二) 樹落則糞本

(二十三) 不誠無物

(二十四) 竹本箭

(二十五) 臺灣生蕃ノ弓矢

(二十二) 樹落則糞本

りかるど一氏カ一タビ土地ノ原始的不滅の生産力ノ差異ヲ以テ地代ノ原因ナリトスル説ヲ唱フルヤ賛否ノ學說紛々擾々トシテ起リ後學ノ徒頗ル去就ニ迷フ余頃ロ荀子ヲ讀ムニ「樹落ツレハ則チ本ヲ糞ス弟子通利スレハ則チ師ヲ思フ詩ニ曰ク言トシテ讎セサルコトナク德トシテ報セサルコトナシ此ノ謂ナリ」トアリ(致士篇)コノ「樹落ツレハ本ヲ糞ス」トハ木葉カ落ツレハ其根ヲ培養スルヲ謂ヒ以テ弟子カ業ヲ成セハ其師恩ヲ思フニ喩ヘタルモノナレトモ是レ既ニ土地ノ不

滅の生産力ノ學說ヲ暗示スルノミナラス我佐藤信淵等ノ報德説及ヒ輓近歐洲ノ農學者カ掠奪的農耕(Raubbau)ヲ戒ムルノ説ヲ數千年前ニ豫見スルモノニ似タリ

(二十三) 不誠無物

中庸ニ「誠ナル者ハ物ノ終始ナリ誠ナラサレハ物ナシ是ノ故ニ君子ハ之ヲ誠ニスルヲ貴シト爲ス誠ハ自ラ己レヲ成スノミニ非サルナリ物ヲ成ス所以ナリ己レヲ成スハ仁ナリ物ヲ成スハ知ナリ性ノ德ナリ外内ヲ合スルノ道ナリ」トアリ嗚呼是レ道德的訓言ナリト雖亦以テ經濟的理法ノ説明トナス可キナリ例ヘハ茲ニ一片ノ梁肉アラシ人ノ之ヲ得テ食ハント欲スルハ是レ其身ヲ養ハント欲スレハナリ換言スレハ其身ヲ愛スルニ誠ナレハナリ若シ彼ニ老親アラシニ先ツ此梁肉ヲ老親ニ捧クルナラン此場合ニ於ケル梁肉ノ效用(二層精確ニイハハ限界的效用即チ價值)ハ前場合ヨリモ大ナリ何トナレハ壯者ハ必スシモ梁肉ヲ食ハストモ其健康ヲ保ツヲ得ヘキモ老者ハ之ニ非サレハ其養ヲ得サルヘケレハナリ然ラハ

則チ子カ老親ニ梁肉ヲ捧クルハ孝養ノ誠心ニ出  
ツルナリ而シテ此孝養ノ誠心カ梁肉ノ價值ヲ一  
層高カラシムルナリ故ニ中庸ニ曰ク「誠ハ自ラ  
己レヲ成スノミニ非サルナリ物ヲ成ス所以ナリ  
己レヲ成スハ仁ナリ物ヲ成スハ知ナリ性ノ徳ナ  
リ外内ヲ合スルノ道ナリ」ト己レヲ愛スルヨリ  
更ニ進ンテ父母ニ孝養ノ誠ヲ致スハ仁ナリ己レ  
ヲ成スナリ梁肉ノ單ニ壯者口腹ノ慾ヲ滿スノ小  
價值ヲ高メテ老親ニ孝養ヲ盡スノ大價值ト爲ス  
ハ知ナリ物ヲ成スナリ而シテ此仁ヤ知ヤ共ニ誠  
ナル性ノ徳ナリ外内ヲ合スル道ナリ若シ梁肉ニ  
シテ老者ヲ養ハズンハ價值ナシ即チ有レトモ無  
キニ均シ故ニ曰ク「誠ナラサレハ物ナシ」ト「誠  
ハ外内ヲ合スルノ道ナリ」ト中庸ニ又孔子ノ語  
ヲ擧ゲテ曰ク「人ハ飲食セサル莫キナリ能ク味  
ヲ知ル鮮キナリ」ト是亦「物ヲ成スハ知ナリ」ノ  
意ナリ

以上ハ物ノ消費ニ就テ不誠無物ノ理ヲ説明シタ  
リ請フ更ニ物ノ生産ニ就テモ亦同一ノ理法アル  
コトヲ述ヘン夫レ物トハ何ソヤ物又ハ事ノ謂ヒ

ナリ換言スレハ善物善事ナリ (Goods, Guter,) 有  
形及ヒ無形ヲ兼テイフナリ今理解ニ便ナラシ  
メンカ爲ニ有形物ニ就テ述フヘシ人カ生産セン  
ト欲シ又ハ生産セラレタル有形の善物 (material  
goods) カ財貨 (economic goods) タルコトハ茲  
ニ説明スルノ要ナシ抑カ人カ財貨ヲ生産スルハ  
之ヲ以テ自己又ハ他人又ハ社會ノ用ニ供セント  
欲スル爲ニ外ナラス自己ノ爲ニスルハ是レ己レ  
ニ誠ナルナリ他人ノ爲ニスルハ是レ他人ニ誠ナ  
ルナリ社會ノ爲ニスルハ是レ社會ニ誠ナルナリ  
是ノ誠ヤ實ニ有用ノ財ヲ生産スル所以ナリ故ニ  
是ノ誠ニシテ缺クルトキハ財ノ效用ハ亦缺クヘ  
シ故ニ曰ク「誠ナラサレハ物ナシ」ト原始的社會  
ニ在リテハ各人ハ自己及ヒ其家族ノ直接ノ需要  
ニ應スル爲ノ生産ヲ爲ス之ヲ孤立的の若クハ自給  
的の生産ト謂フ此種ノ生産ノ場合ニ就テハ不誠無  
物ノ理ハ明白ニ之ヲ知ルヲ得レトモ之ヨリ進歩  
セル生産即チ他人ノ需要ニ應スル爲ノ生産即チ  
謂ユル交易的の若クハ營利的の生産ノ場合ニ就テハ  
不誠無物ノ理ハ漸ク雲霧ニ蔽ハルルノ概ナキ能

ハス何トナレハ他人ノ爲ニスル生産ハ到底自己ノ爲ニスル生産ト同一程度ノ誠意ヲ致ス能ハサルコトハ俗人ニ免カレサル所ナレハナリ且ツ交易の生産ノ二箇ノ小分類ニ就テ見ルニ其第一類タル註文生産即チ顧客ノ特別ナル註文ニ應スル生産ニ在リテハ生産者ハ其顧客ニ對スル德義の并ニ經濟的關係カ尙ホ近密ナルカ故ニ生産ニ誠意ヲ致スノ程度モ尙ホ著ルシキモノアリト雖其第二類而カモ最モ進歩セル生産即チ生産者カ社會ノ需要ヲ豫想シテ商品ヲ生産スル場合即チ所謂商品生産ノ場合ニ就テ之ヲ見ルニ生産ニ誠意ヲ致スノ程度ハ概シテ甚タ低キモノノ如シ而カモ此場合ニ於テ社會ニ於ケル財貨ノ分量性質及ヒ種類カ最モ進歩發達スルノ觀ヲ呈スルハ恰カモ不誠無物ノ理法ニ矛盾スルニ似タリ然レトモ更ニ精思熟考スレハ此理法ハ依然トシテ行ハルルヲ見ルナリ例ヘハ現今國際貿易ニ於テ優勝ノ地位ヲ占ムル國民ハ其生産品ヲシテ之ヲ需要スル他ノ國民ノ嗜好資力ニ適合セシムルコトヲ勉メテ能ク其目的ヲ達シタルモノニ外ナラサルナ

リ彼ノ粗製濫造ヲ敢テシ世ノ需要者ヲ欺ムキテ一時ノ奇利ヲ貪ル如キ生産品ハ遂ニ販路ヲ失ジテ往々積ミ戻シ又ハ廢棄スルノ止ムヲ得サルニ至ル是レ豈ニ不誠無物ノ確的證憑ニ非スヤ此他土木工事ニ就テ見ルニ技師カ其學術ノ研鑽ニ誠意ヲ缺キ又ハ設計監督ニ誠意ヲ缺キ又ハ工夫カ其作業ニ誠意ヲ缺キ又ハ土木會社ノ理事支配人等カ其請負契約ノ履行ニ誠意ヲ缺キタルカ爲ニタトヘハ二十年モ保ツヘキ筈ノ土木建設物カ暮年ナラスシテ忽チ傾覆破壞スルコトアリ是レ亦不誠無物ノ例證ナリ

最後ニ財ノ分配ニ就テ一言セン大學ニ曰ク「貨悖リテ入ルモノハ亦悖リテ出ツ」ト孟子ハ曰ク「蹴爾トシテ與フトキハ乞丐モ受ケス」ト是レ實ニ千古ノ金言ナリ夫ノ虐君汚吏カ橫征暴斂ヲ敢テシテ得タル財貨ハ無益ノ費途ニ消費セラレ何等真正ノ效用ヲ發揮セサルノミナラス其內帑私庫ニ殘存セルハ偶々以テ其身命ト共ニ之ヲ他人ニ委セサルヘカラサルニ至ル是レ悖リテ入りテ悖リテ出ツルナリ又夫ノ賭博、空相場、株式

投機、賄賂ノ授受等ニ由リテ得タル富ハタトヘ  
僥倖ニ之ヲ失フコトヲ免カルトモ之カ所有者  
ニ向テ決シテ眞正ノ愉樂ヲ供スヘキモノニ非ス  
而シテ多クハ朝ニ得テ夕ニ之ヲ失ヒ且往々縲紲  
ノ辱ヲ免カレス是モ亦悖リテ入リテ悖リテ出ツ  
ルナリ所謂不誠無物ナリ如何ナル山海ノ珍味モ  
之ヲ人ニ與フニ蹴爾トシテ犬豚ニ物ヲ與フカ如  
クスレハ誰レカ之ヲ受クルコトヲ屑シトセンヤ  
如何ナル粗食糲羹ト雖最愛ノ妻カ誠心ヲ籠メテ  
調理シ温平タル顔貌淑然タル儀容ヲ以テ之ヲ薦  
ム時ハ彼ノ良人ヘ珍膳嘉肴トシテ之ヲ賞味セン  
地主ト小作人トノ關係モ亦斯ノ如キノミ企業主  
ト勞動者トノ情誼モ亦何ソ之ニ異ナランヤ嗚呼  
小作料ナリ勞賃ナリ世間何ソ蹴爾トシテ之ヲ與  
フ者ノ衆キヤ曰ク一揆曰ク「ボイコツト」曰ク  
「ロツクアウト」曰ク「ストライキ」嗚呼是等ノ悖  
戾ノ手段ニ依リテ財貨ヲ爭奪セント競フ者現時  
ノ所謂富メル文明國ニ最モ多ク之ヲ見ル實ニ痛  
嘆ニ堪エサルナリ

## (二十四) 竹木箭

余弓術ヲ好ム射學ノ經典トシテ平素愛讀スル所  
ハ明ノ高穎ノ著「射學正宗」ナリ同書卷下擇物門  
ノ第十二ニ竹木箭宜シク擇ムヘキヲ論シテ曰ク  
「北人ハ多ク木箭ヲ用キ南人ハ多ク竹箭ヲ用ユ  
北人木ヲ好ミテ南人竹ヲ好ムニ非サルナリ木ハ  
北邊ニ産シ竹ハ江南ニ産ス各々其土ノ産スル所  
ニ因テ之ヲ用ユ」云云ト此一片ノ言ハ既ニ後世  
經濟學者ノ國際分業論ノ正鵠ヲ射タルモノト謂  
フ可キ歟

## (二十五) 臺灣生蕃ノ弓矢

臺灣ニ在ル一友余ニ生蕃ノ弓矢ヲ贈リ來ル弓ハ  
木製ニシテ長サ四尺五寸許リ蓋シ白檀ヲ以テ作  
レルナラン我古典ニ見ユル「シラマユミ」ニ近キ  
モノナルヘシ矢ニ二種アリ共ニ竹幹ナリ其一ハ  
稍太クシテ長サ二尺五寸麻紐ヲ以テ繋ケル鐵鏃  
ヲ附ク此ハ獸ヲ射ルニ用キルトソ其二ハ幹細ク  
シテ稍長ク約三尺鏃ハ三叉ノ竹ノ粗キ刻ミ目ア  
ルヲ着ク此ハ魚ヲ射ルニ用キルトゾ因テ思フ  
「春秋」隱公ノ條ニ「五年、春、公矢魚于棠」ト  
アルヲ杜注ハ書陳魚、以示非禮也、書棠

雜錄 中世ニ於ケル賣買ノ擔保

識ニ遠地ニ也ト解釋シタルコトヲ公羊穀梁兩傳ニハ觀魚トアリ左傳ノ傳文ニハ公將<sup>三</sup>如<sup>レ</sup>棠觀<sup>二</sup>魚者トアリ而シテ諸家ノ注ハ魚ハ漁ニ同シト解ス此等ノ見解ニ從フトキハ矢魚ハ漁者ヲ陳列シテ之ヲ觀ル宛モ今日ノ觀兵式ノ如ク爾リ然レトモ余思フニ矢魚ノ矢ハ讀ンテ字ノ如シ棠ニ矢魚ス即チ矢ヲ以テ棠ニ漁セシムルニテ棠ニ行キテ漁遊ヲナシタルモナラン歟敢テ識者ニ質ス